

年末年始における新型コロナウイルス感染症の拡大防止について

中間市では、現在（12月25日時点）累計18名の感染者が確認されております。そのうち8名の方が12月に入って確認されており、全国的な感染者急増の状況は、本市においても同様の傾向となっています。

そこで、本市では、インフルエンザ予防接種の助成事業拡大や、一定の高齢者の方への任意のPCR検査体制確保等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めているところです。

しかしながら、一人ひとりの「手洗い励行」「マスク着用」「不要不急の外出は控える」等の取り組みに勝る対策はないと考えます。

年末年始は帰省や旅行で人の移動が多くなったり、忘年会・新年会で人が集まったりと感染のおそれのある場面が多くなります。福岡県での医療提供体制は直ちにひっ迫する状況にはないとのことですが、12月12日付で「福岡コロナ警報」が発出されており、今のままの感染拡大が続けば医療体制への負荷はますます大きくなります。

そこで、市民のみなさまに次のことをお願いします。

- ・マスク・手洗い・身体的距離・三密の回避などの感染予防の基本を守ってください。
- ・今年の年末年始は静かにお過ごしください。
- ・外出・移動の際は、ご自分の体調や一緒に行動する人のこと等を考えて、慎重に判断してください。特に、県外へ移動するときは、目的地の感染状況や自治体の呼びかけなどの情報に留意してください。初詣等の混雑しそうな場所は時期をずらすなどしてお出かけください。
- ・会食等は普段一緒の人（家族など）と少人数、短時間で行ってください。飲食店を利用する場合は、会食は感染症防止対策を行っている店の利用をお願いします。

そしてこれ以上の拡大を阻止するためにも、「静かな年末年始」をお過ごしください。

私も、新型コロナウイルス感染症の収束を祈りながら静かに過ごし、市民のみなさまとともに健やかな新しい年を迎えたいと切に願います。

令和2年12月28日

中間市長 福田 健次